



ふるさとに誇りをもち 心豊かで たくましく生きる児童の育成

～笑顔いっぱい 夢いっぱい ともに学び ともに歩む～



文責 学校長 延東省典

6年生は次のステップへ

いよいよ、6年生の卒業式が明日19日(水)となりました。遊具にペンキを塗ったり、掃除をしてくれたりと6年生が学校への感謝の気持ちを込めた取り組みをしてきている様子を見ると、「一人の人間として成長したなあ」と心から感じます。

人間は始めから人間なのではありません。多くの大人や社会環境の中で学び、出会った人から様々な影響を受け、自己を確立していきます。その過程の中で、他者理解ができるようになり、社会を構成する一人の大人として仲間入りをしていきます。

小学校課程を終え、中学校課程に進む子どもたちには、これからの出会いをまたひとつ自分を大きく育ててくれるものとして捉え、ゆっくりじっくり自分磨きをしていって欲しいと願っています。

6年生のみなさん、卒業おめでとう。そして、これまで学校を支えてくれて本当にありがとう。

春休みを「育ち」のチャンスに

—春休みの課題—について

3月26日(水)～4月6日(日)までの春休みについては、学校から指定する課題はありません。

「課題がない」と「学習しなくていい」は、同意語ではありません。「イヤイヤ勉強」ではなく「ワクワク学び」にして欲しいという意味です。

問題集や多くのプリント、出されたものを何も考えることなく、とにかくやるだけやって得られるものは何でしょう。せいぜい「大人のやらせた安心感」「多少の知識の復習」「勉強やっぱりおもしろくない感」ぐらいではないでしょうか。

子どもたちには、

- ①「自分で自分を成長させることの大切さ」
- ②「自分で考え、選択し、実践する力」
- ③「相談し、協力してもらい、感謝できる素直さ」

そうした基礎的な人間力をベースにした学びに取り組んでもらいたいです。

では、具体的にはどのようなことができるでしょうか。以下に1つの例としてお示しますが、あくまで例示です。大切なことは、自分で考える、一緒に家族や友達と考え、相談する経験です。

友達と一緒に取り組むのも大あります。例えば、

- 1) 長期休業中に出かけた場所について調べ、その場所がある都道府県の特徴や特産物などについてまとめてみる
- 2) 身近な植物の花を写真に撮ったりスケッチしたりしながら、その名前や特徴をまとめる
- 3) オリジナル絵本を創作してみる
- 4) 魚を捌き、料理してみる
- 5) 家族や近所の職場を見学させてもらい、気づいたことや発見をまとめる
- 6) 応募できるコンクールを調べ、挑戦してみる
(先日、吉備中央町の4年生が、福山市水道100周年記念標語に応募し、大賞を受賞、表彰されていましたよ)
- 7) 日記・川柳・俳句などに挑戦してみる
- 8) 小説(物語)を書いてみる
- 9) 問題集を買って、復習する
- 10) 漢・計ドリルをやり直してみる
- 11) 本を読んで、好きな作家を見つける
- 12) タブレットドリルで予習・復習に取り組む
- 13) プログラミングに挑戦してみる
- 14) ちょっと離れた親戚の家まで公共交通機関を使って一人旅に挑戦し、まとめてみる
- 15) 地元「湯郷 belle」や「ファジアーノ岡山」の応援に行き、そのチームの歴史や試合の雰囲気や様子をレポートする
- 16) …… 考えるだけで楽しくなりませんか？

大切なのは内容ではありません。自分で考え、相談し、意見をもらい、達成するために他者に協力してもらい、協力してもらったことに感謝し、自分が取り組んだことを第三者(友達や先生など)にアウトプットする。聞いて欲しい!分かって欲しい!誰かに見て欲しい!と自信をもって表現できることです。漢字や計算練習が悪いわけではありません。自分で考え、自分で決めたことなら、それはすばらしい学びです。学びの過程を重視したいのです。

大人に近づけば近づくほど、「やらなくてはならないこと」が増えるのは事実です。今からそれに堪える訓練・・・ではなく、そのハードルを乗り越えるエネルギーを蓄えて欲しいのです。取り組んだ成果を「先生みてー」と休み明けにアピールしてくれる子どもたちの姿を楽しみにしています。